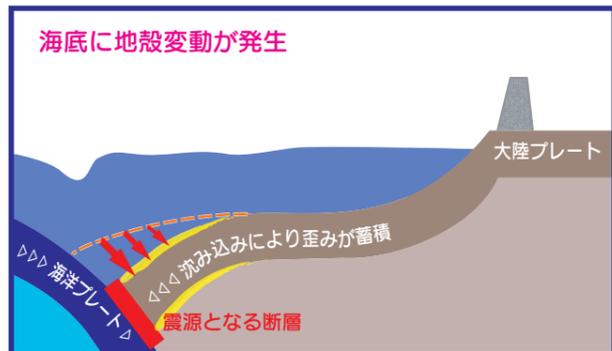


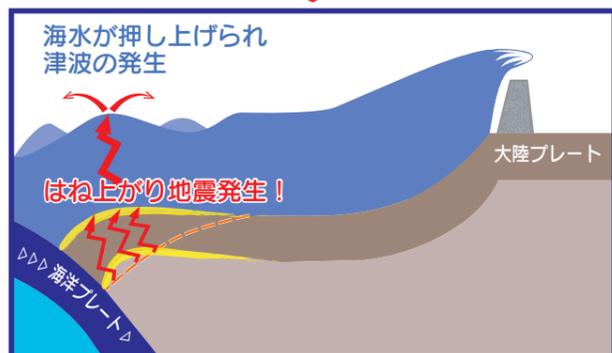
## 津波の発生する仕組みと特徴

津波は、大規模な地震によって震源に近い海底に上下方向のずれ（断層）が現れ、これによって生じる海水面の盛り上がりや落ち込みによって巨大な塊となって押し寄せる波のことです。

### 津波の発生する仕組み



1. 海洋プレートが大陸プレート下に沈み込みます。
2. 大陸のプレートの先端が引きずり込まれ、歪みが蓄積します。



3. 歪みが限界に達し、大陸のプレートの先端部がはね上がる衝撃で地震が発生、同時に津波が発生します。

### 津波の特徴

#### 1 津波と波浪（高波）の違い

波浪（高波）は、風によって生じる海面付近の現象であるのに対し、津波は海底地盤の変動により発生し、海底から海面までの海水全体が動くためエネルギーが莫大です。

#### 2 2波、3波と繰り返しやって来る

必ずしも第1波が最大とは限りません。また何時間も後にやってくることもあります。解除されるまで安全な場所にいきましょう。

#### 3 津波の速さは海の深さに関係

発生した地震の深海が深いと早く、浅いと遅くなる性質がある。津波が陸地に近づくとき遅くなるが後ろからの波が追いつくため波高が高くなる。

#### 4 津波は遠くからやって来ること

過去にチリ地震が起こした津波が 20 時間以上たって日本を襲ったこともあります。

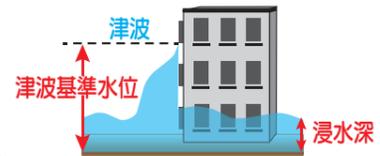
## 津波基準水位と津波災害警戒区域

「津波基準水位」は、最大クラスの津波が悪条件下において発生した場合を想定し、断層モデル等をもとに津波浸水シミュレーションにより浸水の区域（海岸線から陸域）内に設定したもので、避難を目的に防災対策をすすめる目安とするものです。津波マップでは高さ毎に7段階の配色で表示しています。

「津波災害警戒区域」は、津波浸水想定を踏まえ、津波による人的災害を防止するために「警戒避難体制を特に整備すべき区域」のことです。

### ● 津波基準水位

浸水予測に基づく浸水深に建築物等への衝突によって生じる津波の水位上昇（せき上げ）を加えた水位のことであり、地盤面からの高さ（m単位）で表示されています。



津波基準水位	高さの目安
10.0m ~ 20.0m 未満	6階建て以上の建物が水没する可能性がある。
5.0m ~ 10.0m 未満	3階建ての建物（あるいは3階部分まで）が完全に水没する。
3.0m ~ 5.0m 未満	2階建ての建物（あるいは2階部分まで）が水没する。
1.0m ~ 3.0m 未満	2階の床下までつかる程度。
0.5m ~ 1.0m 未満	大人の腰までつかる程度。（床上浸水）
0.3m ~ 0.5m 未満	大人の膝までつかる程度。（床下浸水）
~ 0.3m 未満	乗用車のタイヤ半分がつかかる程度。

## 津波情報の種類と想定される被害

気象庁は、地震後に津波による災害が予想される場合には、地震発生から約3分を目標に「大津波警報・津波警報・津波注意報」を、津波予報区単位で発表します。

### 津波警報・注意報の種類と想定される被害

種類	発表される津波の高さ		想定される被害		
	数値での発表 (津波の高さ 予想の区分)	巨大地震の 場合の発表	人や物	建物	漁船
大津波警報	10m超 (10m<予想高さ)	巨大	人は津波による流れに巻き込まれる。	鉄筋コンクリートビルは持ちこたえるが、木造家屋は全壊流出する。	被害率 100%
	10m (5m<予想高さ≤10m)				被害率 50%
	5m (3m<予想高さ≤5m)				被害発生
津波警報	3m (1m<予想高さ≤3m)	高い	標高の低いところでは、津波が襲い、浸水被害が発生する。人は津波による流れに巻き込まれる。	木造家屋は部分的に破壊。	津波波高 2m以上
津波注意報	1m (0.2m≤予想高さ≤1m)	(表記しない)	海の中では人は速い流れに巻き込まれ、また、養殖いかだが流出する。		

※規模（マグニチュード）が8を超える巨大地震の場合は、「巨大」や「高い」という言葉で発表します。  
※規模（マグニチュード）が正確に分かった場合は、「5段階の数値」で発表します。

## 津波からの避難の心得

1 強い地震（震度4程度以上）を感じた、又は弱い地震であっても長い時間ゆっくりとした揺れを感じた。

2 地震を感じなくても、「津波警報」が発表されたとき。

3 「津波注意報」でも海の中や海岸沿いは危険なので、海の中にいる人はただちに海から上がり、海岸から離れて下さい。

**直ちに海浜から離れ、急いで高台に避難！  
船舶は港外の水深の深い広い海域へ退避！**

#### 4 情報を待っているのは、逃げ遅れる！

テレビ、ラジオなどの情報を待っていると避難に間に合わないことがあるので、まず安全なところに避難してから情報確認しましょう。

#### 5 「津波警報、津波注意報」が解除されるまで油断しない！

津波は繰り返し襲ってくるので、ラジオなどで正確な情報をきくまで油断しないようにしましょう。

